

2026年5月15日
株式会社ゆうちょ銀行

「サステナビリティフォーカスレポート 2026」の発行について

株式会社ゆうちょ銀行（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 笠間 貴之、以下「ゆうちょ銀行」）は、「サステナビリティフォーカスレポート 2026」を発行しましたので、お知らせいたします。

ゆうちょ銀行は、本日公表した新しい中期経営計画（2026年度～2028年度）（以下、新中計）において、中長期ビジョンを定めるとともに、事業を通じて社会課題解決と企業価値向上の両立を目指す「サステナビリティ経営」を推進する方針を掲げています。本レポートは、ゆうちょ銀行が目指す「サステナビリティ経営」への取り組みについて、新中計では伝えきれないポイントをまとめたものです。

具体的には、ゆうちょ銀行が事業を通じて取り組むべき重要な社会課題として、新たに設定した4つのマテリアリティ＜「人生100年時代の伴走支援」、「良質な金融へのアクセシビリティ確保」、「地域との共創による価値創出」、「持続可能な環境・社会に向けた投融資」＞について、策定の背景や具体的な取り組みを記載しています。

また、ゆうちょ銀行は、2019年のTCFD提言への賛同以降、GHG排出量2050年ネットゼロを宣言し、投融資ポートフォリオ排出量に関する中間目標の設定などを通じて、気候変動対応に関する取り組みを継続的に進めてまいりました。さらに、自然資本・生物多様性や人権といったテーマについて包括的な取り組みを推進するほか、投融資に伴うポジティブ・インパクトの算定や開示にも取り組んできました。本レポートでは、これらの一連の取り組みについて、進捗状況を含めて詳しく記載しております。



【サステナビリティフォーカスレポート 2026URL】

<https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/report/pdf/sustainability-focus-report.pdf>

ゆうちょ銀行は今後も、社会課題解決と企業価値の向上の両立を図るサステナビリティ経営を推進・加速し、ステークホルダーの皆さまと共に持続可能な環境・社会の実現に貢献してまいります。